

液状堆肥を使ってみませんか

函南町役場 環境衛生課

今や有機性廃棄物は、有効利用のためのリサイクルが当たり前の時代になっていますが、函南町し尿処理場（こだま苑）では、昭和60年よりこの思想に基づきいち早く町内で発生する有機性排水である「し尿」、「浄化槽汚泥」を肥料化する施設を導入し、液体肥料（液肥）を生産しております。

以来約30年間、地元農業を支える土づくりのための資材として、液肥は町内農家等により有効利用されております。

☆液肥とは・・・☆

昔は未処理のまま農地にまいていた有機性液体廃棄物を、60度前後の温度で発酵し、大腸菌群、病原菌、寄生虫卵を完全になくした衛生的な液体肥料です。ビニールや布、石や砂は取り除いてありますので、安心してお使いください。

☆液肥施肥量のめやす☆

水 田：4kl/10a たけのこ：6kl/10a 牧 草：3kl/10a
柿 ：4kl/10a とうもろこし：4kl/10a だいこん：3kl/10a
プランター：（60cm×20cm）に対し約500cc

※初めて使用する場合は、様子をみながら使用してください。

☆液肥主成分分析結果☆

（単位：％）

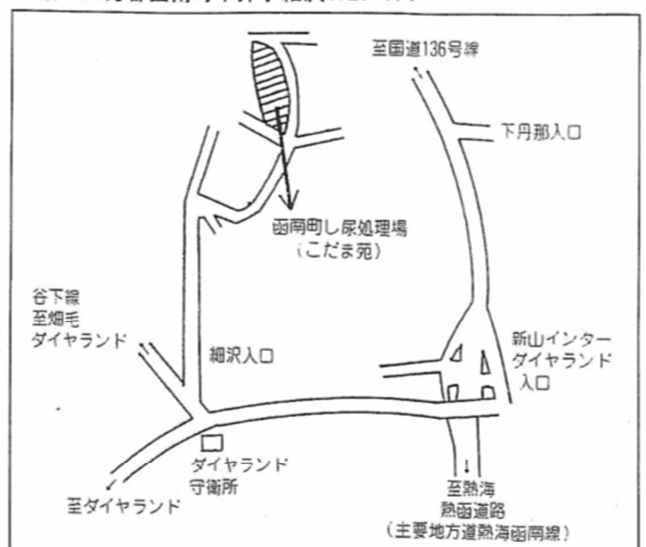
項 目	令和5年度	令和6年度
窒 素 全 量	0.09	0.06
リ ン 酸 全 量	0.04	0.03
カ リ 全 量	0.01未満	0.01未満
炭 素 窒 素 比	4	4

◇液肥施肥基準

10a（1反）当り：2.0～6.0キロリットル
※作物栽培計画や策もとの種類によって、不足する成分は肥料を施肥してください。

◇こだま苑案内図

住所：田方郡函南町平井字細沢1720-174



☆液状堆肥に関するQ & A ☆



Q 1 どんな作物に散布するの？

A 1 あらゆる農作物に有効です。有機質肥料なので、穏やかに作用する自然にきわめて近い肥料です。

Q 2 液体だから雨で流れないの？

A 2 肥料成分は、土地に吸着されて雨で流れることはありません。もちろん過剰に散布するのはよくありませんが、適量を散布する限り問題ありません。

Q 3 汚くないの？

A 3 酸素を与える高温発酵によって、発酵温度が60度を超えるので、大腸菌群、病原菌、寄生虫卵などは存在しません。
衛生上の問題はありません。

Q 4 臭くないの？

A 4 肥料成分の一つである窒素成分が、アンモニアの形で溶け込んでいます。鼻を近づけると少しアンモニアのにおいがします。

☆申し込み・受け取り方法☆

こだま苑には500ℓの液肥貯留タンクが設置してあり、容器を持参していただければ、液肥をご自由にお持ちいただけます。

また、農地等へ散布する場合など量が多い場合（1.8kℓ以上）は、職員が散布車にて散布をいたします。

※液肥も散布も料金は無料です。

こだま苑又はごみ焼却場、環境衛生課にお申し込みください。



（問い合わせ先）

- | | |
|-----------------|---------------|
| ①函南町し尿処理場（こだま苑） | 9 7 4－2 2 4 9 |
| ②函南町ごみ焼却場 | 9 7 4－0 2 2 3 |
| ③函南町役場環境衛生課 | 9 7 9－8 1 1 2 |